

夢、希望へ新たな旅立ち



友人や家族に見送られ、県外に旅立つ若者。31日午前11時すぎ、那覇空港出発ロビー

新年度前に 家族らエール

きょうから4月、新年度を迎え、新たな出会いの季節となった。1日は日曜日のため、地銀三行を含め、多くの企業は2日に入社式を行う。新しいスーツに身を包んだフロッシャーズが夢と希望を抱え、社会人としての第一歩を踏み出す。



小中学校の入学式は6日を皮切りに、9、10日がピーク。新入生が晴れ晴れとした表情で学校の門をくぐる。31日、那覇空港では友人や家族に見送られ、進学や就職のため県外へ旅立つ若者の姿が見られた。保健師の資格を取るため、島根県の大学に進学す

る仲尾優花さん(21)「沖縄市」は「不安も大きいが保健師になるのが夢だった。沖縄の医療に貢献できるようしっかり頑張りたい」と晴れ晴れした表情で語った。母の由美子さん(47)は「若い時にしかできない経験をしてほしい。親は見守るだけです」と娘にエールを送った。